

保健福祉企画総務課長 様

安全・安心ネットワーク推進室

室長 岡崎 公彦

岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員の
意見等について（報告）

下記施設整備事業について、平成 24 年 2 月 24 日岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員（以下「委員」という。）に意見を聴いた結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	岡山市金川地区コミュニティハウス改築工事	
委員からの意見	委員の意見に対する回答	
車路（東側）と歩行者通路（西側）を入れ替えて勾配が緩い方を歩行者通路にした方が良いのではないかと。	車路と歩行者通路の位置については、地元と協議した結果ですの変更しません。 ただし、歩行者通路の勾配についても2%弱と非常に緩やかな計画となっております。	
駐車枠のすぐ近くに点字ブロックがあるのは危険であり、出来る限り駐車枠から離れた方が良い。また、点字ブロックはなるべくまっすぐにしたい。	点字ブロックについては、出来る限り駐車枠から離して設置します。 また、中央に今回の整備対象外のスペースがあるため、まっすぐには出来ません。	
タクシー等で来た人が乗降するときに雨が当たらないように屋根などがあつた方が良いと思う。	玄関前のポーチには庇があり、そこにタクシー等を停めて乗降することも可能です。	
駐車枠から玄関までに点字ブロックは設置しないのか。	設置しません。	
車路と歩行者通路を示す看板があつた方	検討します。	

<p>が良いのではないか。</p> <p>点字ブロックの開始位置はフラットでそこからスロープが始まるのではないか。敷地全体がスロープでその途中から点字ブロックが始まるのはおかしいのではないか。</p> <p>トイレの外からトイレ内の配置が分かる触知図を付けて欲しい。</p> <p>女子トイレには、大便器 2 箇所設置されておりますが、手すりはなぜ 1 箇所のみなのか。両方設置すればよいのではないか。</p> <p>暖房便座は付いているのか。また、トイレブース内にフックなどは付いているのか。</p> <p>便座の消毒液の対応はどうか。</p> <p>玄関前の勾配について、+ 300、+ 350、+ 400となっており、勾配が途中で変わるとつまずきやすくなるので、なるべく緩やかにして欲しい。</p> <p>玄関タイルを滑りにくい材質にしてほしい。</p> <p>玄関の土間に勾配があるのであれば、玄関を入れてすぐの両サイドには段差が発生するのではないか。</p> <p>多目的トイレの L 型手すりは、左側であ</p>	<p>点字ブロックの開始位置については、フラットとします。</p> <p>検討します。</p> <p>大便器には、すべて手すりを設置します。</p> <p>暖房便座について、多目的トイレには設置しておりますが、男子・女子トイレは設置しません。ただし、将来、暖房便座が設置可能なように、コンセントなどは取り付けます。また、ブース内にフックは設置します。</p> <p>日常の維持管理は地元での対応であり、地元へ意見をお伝えし、必要があれば地元において対応を検討してもらいます。</p> <p>水勾配の関係上、玄関前には多少の勾配が必要ですが、緩やかな勾配としております。</p> <p>滑りにくい表面仕上げのものを採用します。</p> <p>検討します。</p> <p>トイレの配置計画、可能な限り対応しま</p>
--	--

<p>り、男女トイレのL型手すりも左側となっています。右側に手すりがあるってよいのではないか。</p> <p>多目的トイレのベビーシートをユニバーサルシートにしてはどうか。</p> <p>廊下の手すりは2段の手すりを採用して欲しい。</p> <p>手すりのエンド部分に点字シールを検討して欲しい。</p> <p>玄関前に可動イスが会議室側にあるが、和室側にもベンチを置いた方が良くはないか。</p> <p>和室と廊下の段差について、車椅子利用の方々は床の高さが40cm程度上がっている方が移乗に便利であると思う。</p> <p>玄関は自動ドアか。</p> <p>聴覚障害の対応を検討して欲しい。フラッシュなどの設備を設置することは難しいとしても、非常時には地域の方々のソフト面での対応をお願いしたい。</p>	<p>す。</p> <p>限られた面積で設計する中でユニバーサルシートを導入すると多目的トイレのスペースを広げる必要があり、他の部屋への影響もあることから、総合的に勘案して設置しないこととします。</p> <p>2段手すりを設置する予定はありません。</p> <p>点字シールを設置する予定はありません。</p> <p>地元と協議し、必要があれば備品での対応を検討します。</p> <p>これまでもご意見をいただいております。和室の高さをどうするかということについては、常に意識して地元と調整を行っています。子どもが利用するときや料理を運ぶときなどは段差がない方がいい場合もあり、地元と協議した結果、フラットにすることにしました。</p> <p>手動の引き戸です。ガラス面については、追突防止のシールを貼ることにしています。</p> <p>地元に意見を伝えます。</p>
--	---